

取扱説明書

DLC-100MP バレット型電動ズームカメラ



アイゼック株式会社

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

規制情報

FCC情報

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を使用者が行うと、その使用者の機器操作に対する権限を無効にする可能性があることに注意してください。

FCCコンプライアンス: この機器はFCC規則の第15章に従ってテストされており、準クラスAデジタル機器に対する制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、機器が商用環境で動作している際、有害な干渉に対して合理的に保護するように設計されています。この装置は、無線周波数エネルギーを生み、使用し、放射します。取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、お客様自身で干渉を修正する必要があります。

FCCの条件

この製品は、FCC規則の第15章に適合しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

1. 製品が有害な干渉を起こさないこと
2. 製品が、不適切な動作を引き起こす可能性がある干渉を含み、干渉を受けなくてもこれに対応していること。

EU適合宣言



この製品と、付属のアクセサリには「CE」のマークが付いているため、低電圧指令2014/35/EU、電磁両立性指令2014/30/EU、および有害物質使用制限指令2011/65/EUで求められる要求事項に適合しております。



2012/19 / EU (WEEE指令): このマークが付いている製品は、家庭ごみとして廃棄できません。適切にリサイクルするために、同等の新品を購入したら、この製品を最寄りの販売店に返送してください。または指定された収集場所で廃棄してください。詳細については、以下を参照してください。 www.recyclethis.info



2006/66 / EC (バッテリー指令):

この製品には、家庭ゴミとして廃棄できないバッテリーが含まれています。詳しいバッテリー情報については、製品の書類を参照してください。このマークがついているバッテリーにはカドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、または水銀 (Hg) が含まれていることがあります。適切にリサイクルするには、バッテリーを販売元または指定された収集場所に返送してください。詳細については、以下を参照してください。 www.recyclethis.info

カナダ産業省ICES-003コンプライアンス

このデバイスは、CAN ICES-3(A) / NMB-3(A) 規格の要件を満たしています。

警告: これはクラスAの製品です。家庭環境では、この製品は電波干渉を引き起こす可能性があり、その場合、使用者は適切な措置を講じる必要があります。



安全指導

これらの手順は、ユーザーが製品を正しく使用して危険や財産の損失を回避できるようにすることを目的としています。

予防措置は「警告」と「注意」に分けられます。

警告: 警告のいずれかを怠ると、重傷または死亡事故が発生する可能性があります。

注意: 注意を怠ると、怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告 重症や死亡を防止するためにこれらの予防策に従ってください。	注意事項 怪我や物的損害を防ぐためにこれらの注意事項に従ってください



警告

- デバイスを使用する際には、国および地域の電気安全規制に厳密に準拠する必要があります。
- 入力電圧は、SELV (Safety Extra Low Voltage) と、IEC60950-1規格に準拠した12VDCのLPSの両方を満たす必要があります。詳細については、技術仕様を参照してください。
- 過熱や過負荷による火災の危険を避けるために、複数のデバイスを1つの電源アダプタに接続しないでください。
- プラグが電源ソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 壁または天井に取り付ける場合は、機器がしっかりと固定されていることを確認してください。
- 機器から煙、臭い、ノイズが発生した場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてからサービスセンターにご連絡ください。
- 専門家でない人がカメラを分解しようとししないでください。



注意事項

- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- センサーモジュールに指で触れないでください。
- カメラを極端に高温、低温（動作温度は-40° C～60° C）、ほこりの多い場所、または湿気の多い場所に置かないでください。また、高電磁波にさらさないでください。
- クリーニングが必要な場合は、エタノールを少し加えた清潔な布を使用して、軽く拭いてください。
- 太陽や非常に明るい場所にカメラを向けしないでください。
- センサーがレーザー光線で焼損する可能性がありますので、レーザー機器を使用する場合は、センサーの表面がレーザー光線にさらされないようにしてください。

DLC-100M 取扱説明書

- デバイスを高電磁波が発生している環境、または極端に高温、低温、ほこりの多い、湿気のある環境にさらさないでください。
- 熱の蓄積を避けるため、風通しの良い動作環境に配慮してください。
- 非防水装置の使用中は、カメラを水から遠ざけてください。
- 持ち運びの際、カメラは元の梱包材、または同等の梱包材を使用する必要があります。

マークの説明

表0-1マークの説明

マーク	説明
— ■ ■	DC電圧

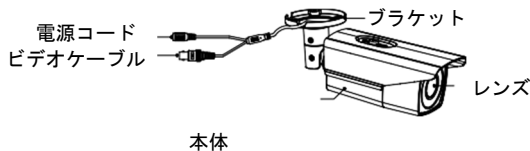
1 商品説明

1.1 製品の特徴

主な機能は次のとおりです。

- 高性能CMOSセンサー
- 自動切り替え機能付きIRカットフィルター
- 設定可能なパラメータを備えたOSDメニュー
- 自動ホワイトバランス
- SMART IR
- PoC
- 3軸調整

1.2 構造



2 取り付け

始める前に

- 商品の中身の状態に問題がなく、すべての組み立て部品が含まれていることを確認してください。

- 取り付けの際、関連するすべての機器の電源がオフになっていることを確認してください。
- 設置環境については、製品の仕様を確認してください。
- 損傷を防ぐために、電源が出力と一致しているかどうかを確認してください。
- 壁がカメラとマウントの3倍の重量に耐えるだけの強度があることを確認してください。
- 壁がセメントの場合は、カメラを取り付ける前に拡張ボルトを挿入します。壁が木製の場合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定します。
- 製品が正常に機能しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。お客様自身で修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。

2.1 カメラの設置

2.1.1 天井/壁への取り付け

始める前に:

各カメラの設置手順は類似しており、以下では手順を説明するために例として取り上げます。

手順:

1. カメラを設置したい場所にドリルテンプレート(付属)を貼り付けます。
2. ドリルテンプレートに従って、天井/壁にネジ穴を開けます。

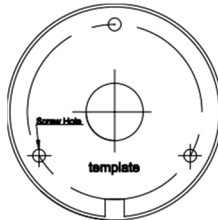


図2-1ドリルテンプレート

3. ケーブルをケーブル穴または側面の開口部に通します。
4. 付属のネジでカメラを天井に取り付けます

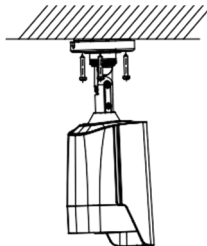


図2-2カメラを天井に取り付ける

DLC-100M 取扱説明書

- ・ 付属のネジパッケージには、セルフタッピングネジと拡張ボルトが含まれています。
 - ・ 壁/天井がセメントの場合、カメラを固定するために拡張ボルトが必要です。木製の場合、セルフタッピングネジが必要です。
5. 対応する電源コードとビデオケーブルを接続します。
 6. カメラの電源を入れて、モニターの画像が最適な角度から撮影されているかどうかを確認します。そうでない場合は、最適な角度にするために下の図に従ってカメラを調整します。

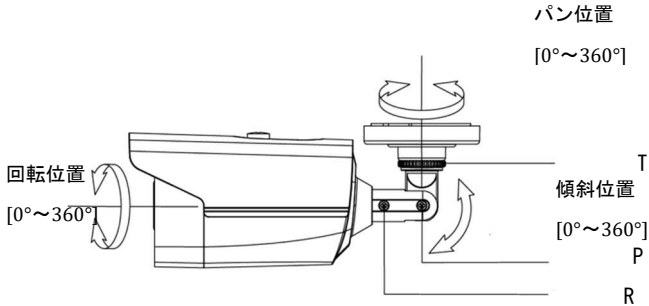


図2-33軸調整

- 1). Pネジを緩めて、パンの位置を調整します。[0° から360°]調整終了後、ネジを締めてください。
- 2). Tネジを緩めて傾斜位置を調整します。[0° から180°]調整終了後、ネジを締めてください。
- 3). Rネジを緩め、カメラを[0° から360°]回転させます。調整終了後、ネジを締めてください。

2.1.2 ジャンクションボックスを用いた天井/壁取り付け

始める前に:

事前にジャンクションボックスを購入する必要があります。各カメラの設置手順は類似しており、以下では手順を説明するために例として取り上げます。

手順:

1. カメラを設置したい場所にドリルテンプレート(付属)を貼り付けます。

2. ドリルテンプレートに従って、天井/壁にネジ穴を開けます。

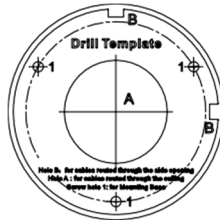


図2-4ドリルテンプレート

3. ジャンクションボックスをカバーと本体とに分解し、カメラのネジ穴をジャンクションボックスのカバーのネジ穴に合わせます。
4. ジャンクションボックスのカバーにカメラを取り付けます。

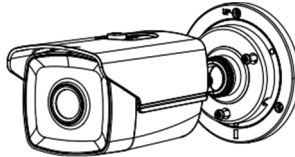


図2-5ジャンクションボックスのカバーにカメラを取り付ける

5. ジャンクションボックス本体のネジ穴を壁/天井の穴に合わせて、その本体を天井/壁に取り付けます。付属のネジでジャンクションボックスの本体を天井/壁に固定します。

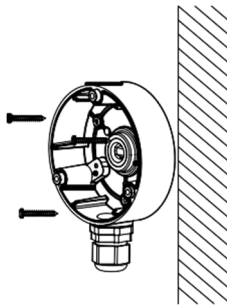


図2-6ジャンクションボックスの本体を壁/天井に固定する

6. ケーブルをケーブル穴または側面の開口部に通します。
7. ジャンクションボックスのカバーと本体を組み合わせます。

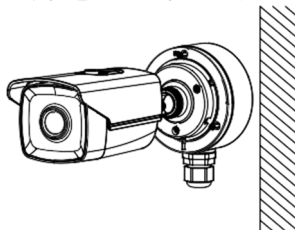
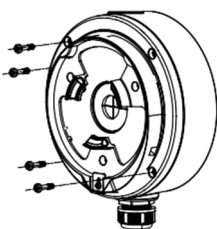


図2-7ジャンクションボックスのカバーと本体の組み合わせ

8. 設置を完了させるために2.1.1 天井/壁のステップ5と6を繰り返します。

図2-8ジャンクションボックスとその

8. 設置を完了させるために2.1.1
9を繰り返します



本体を組み合わせる

天井/壁のステップ5から

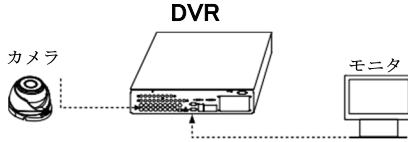
3.メニューの説明

以下の手順に従って、メニューを呼び出します。

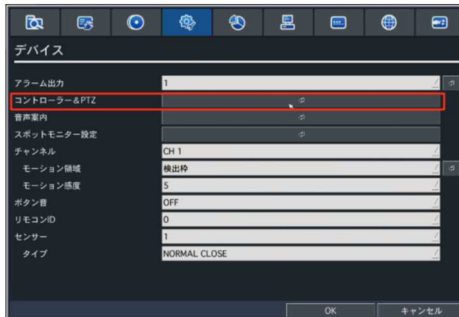
手順:

1. 図3-1に示すように、カメラをDVR、およびモニターに接続します。

*レコーダーはTVI映像対応の製品をお使いください。



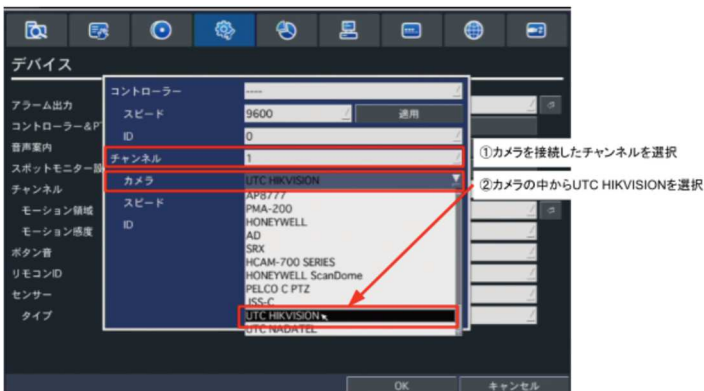
2. カメラ、TVI DVR、およびモニターの電源を入れて、モニターに画像を表示します。
3. レコーダーの「設定」⇒上段メニューの「デバイス」⇒コントローラPTZを選択します。



4. ポップアップがでますので2つの項目を設定します。チャンネル⇒カメラを接続しているチャンネルを選択します。

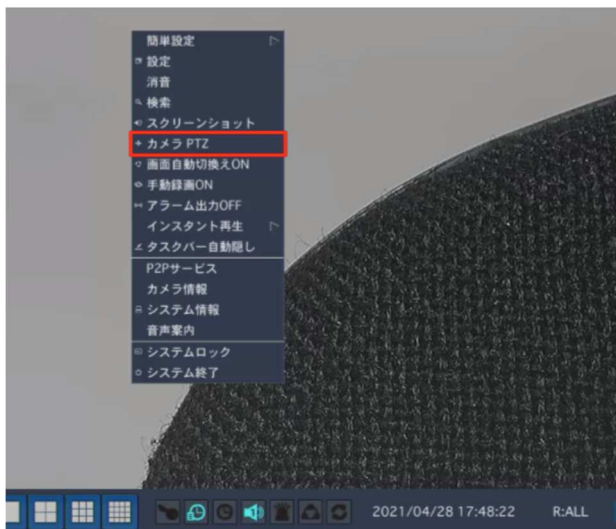
1)本例ではch1にカメラを接続しているので1を選択

2)カメラ⇒選択肢の中からUTC HIKVISIONを選択します。以上を設定したらOKを押して設定は完了です。



DLC-100M 取扱説明書

- 映像画面でマウスの右クリックを押して出てきたポップアップの中から「カメラPTZ」を選択しPTZ操作画面を開いてズーム操作やフォーカス操作が出来ます。
OSDメニューを選択するとOSDメニューが表示されます。



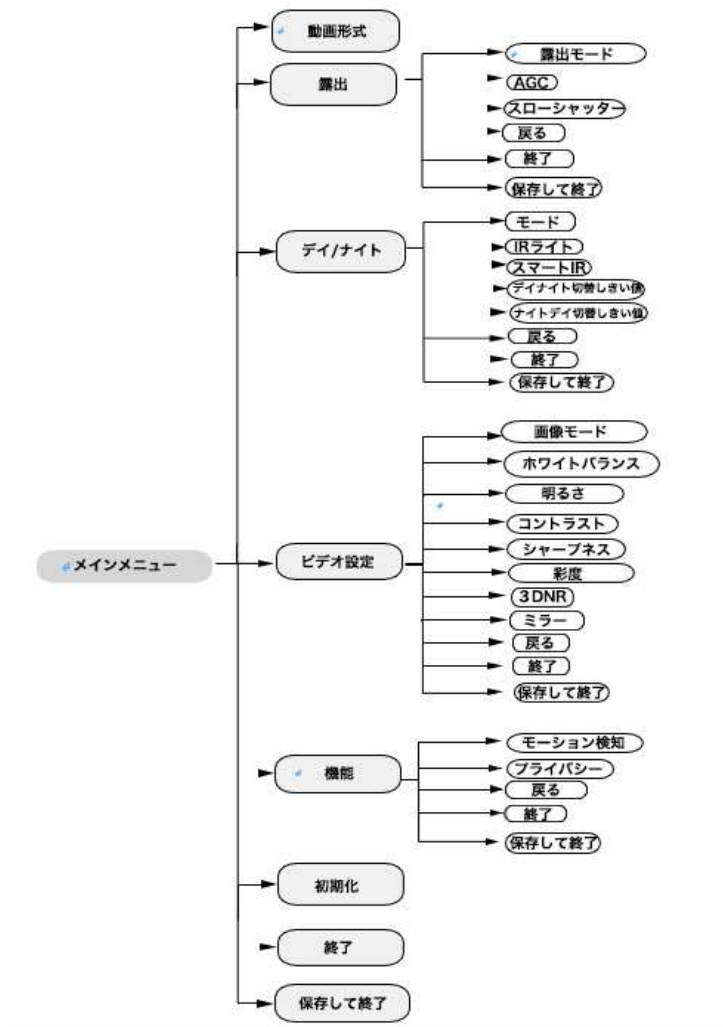


図3-2メインメニューの概要

- 1). 矢印をクリックしてカメラを制御します。上/下方向ボタンをクリックして項目を選択します。
- 2). 左/右方向ボタンをクリックして選択した項目の値を調整します。

DLC-100M 取扱説明書

3.1 フォーマット

動画形式を2MP @ 25fpsまたは 2MP @ 30fpsに設定できます。

3.2 露出

露出モード

露出モードをGLOBAL、BLC、HLC、またはWDRに設定できます。

- GLOBAL(グローバル) 通常の露出モードです。
- BLC(逆光補正)

BLC(逆光補正)は、正面の物体への光を補正して鮮明にしますが、これにより、光が強い背景が露出オーバーになる可能性があります。

- HLC(ハイライト補正)

HLC(ハイライト補正)は被写体の極端に明るい部分(画像の露出過度の部分)を検出し、その部分の明るさを下げて画像全体の印象を改善します。

- WDR(ワイドダイナミックレンジ)

ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能は、逆光の状況下でもカメラが鮮明な画像を映し出すのに役立ちます。視野内に非常に明るい領域と非常に暗い領域の両方が同時に存在する場合、WDRは画像全体の輝度レベルのバランスを自動的に取り、より繊細で鮮明な画像を映し出します。

AGC(自動ゲイン制御)

暗い場所での画像の鮮明さを最適化します。AGCレベルは、HIGH、MEDIUM、またはLOWに設定できます。

注意: AGCがオンの場合、ノイズは増幅されます。

スローシャッター

単一フレームでの露出時間が長くなることでカメラが光に対してより敏感になり、低ルクス条件でも画像を撮影できるようになります。

さまざまな光の状態に応じて、SLOW SHUTTER機能をOFF、x2、x4、x6、x8、x10、x12、x14、またはx16に設定できます。

注意: パワーオーバーを採用している場合、この機能は使用できません 電力を供給するための同軸。

3.3 デイ/ナイト

デイとナイトの切り替えではCOLOR、B&W、AUTOが選択可能です。

デイ/ナイト	
モード	◀ 自動 ▶
IRライト	◀ オン ▶
スマートIR	◀ 2 ▶
デイナイト切替閾値	◀ 2 ▶
ナイトデイ切替閾値	◀ 7 ▶
戻る	←
終了	←
保存して終了	←

モード

- **自動** IR LIGHTのオン/オフを自動で切り替えます
- **COLOR(カラー)** デイモードでは常にカラー画像です。
- **B&W(モノクロ)** 画像は常に白黒であるため、暗い場所ではIRLIGHTをオンにすることを勧めます。

IRライト さまざまな状況下で最適な映像を取得するためにIRLIGHTをオン/オフできます。

SMART IR

スマートIR機能は、光を最適な強度に調整し、画像の露出オーバー(白飛び)を防ぐために使用されます。SMART IR値は0から3まで調整できます。値が大きいほど、より明白な効果が現れます。

D→N THRESHOLD [デイ/ナイト切替しきい値]

Day to Night Thresholdは、デイモードからナイトモードへの切り替えの感度を制御するために使用されます。1～9の値を設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

N→D THRESHOLD [ナイト/デイ切替しきい値]

Night to Day Thresholdは、ナイトモードからデイモードへの切り替えの感度を制御するために使用されます。1～9の値を設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

3.4 ビデオ設定

カーソルをVIDEO SETTINGSに移動しサブメニューに入ります。画像モード、ホワイトバランス、明るさ、コントラスト、シャープネス、彩度、3DNR(3D デジタルノイズリダクション)、およびミラーの調整が可能です。

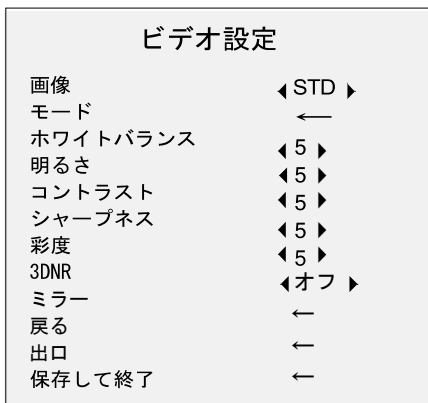


図3-4ビデオ設定

画像モード

画像モードは画像の彩度を調整するために使用され、STD(標準)またはHIGH-SAT(高彩度)が設定できます。

ホワイトバランス

カメラのホワイト補正機能であるホワイトバランスは、環境に応じて色温度を調整する機能です。画像内の不自然な色かぶりを取り除くことができます。ホワイトバランスモードは、AUTOまたはMANUALに設定できます。

- **AUTO[自動]**

AUTOモードでは、光源の色温度に応じてホワイトバランスが自動調整されます。

- **MANUAL[手動]**

R-GAIN / B-GAIN値を設定して、画像の赤/青の色合いを手動で調整できます。

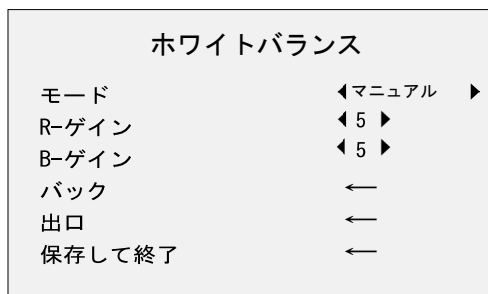


図3-5手動ホワイトバランスモード

輝度 画像の明るさを指します。明るさの値は1～9にまであり、画像を暗くしたり明るくしたりで

きます。値が大きいほど、画像が明るくなります。

コントラスト

この機能は、画像のパーツ間の色と光の違いを強調します。1から9までの値でコントラストの度合いを調整できます。

シャープネス

シャープネスは、画像システムが再現できる細部の量を調節します。1から9までの値でシャープネスの強さを設定できます。

彩度 この機能では色の彩度を調整します。値の範囲は1～9です。

DNR(3D DNR)

3 DNRは、3Dデジタルノイズリダクションを指します。一般的な2Dデジタルノイズリダクションと比較すると、3Dデジタルノイズリダクション機能は、1つのフレームでノイズを処理するだけでなく、2つのフレーム間のノイズを処理します。ノイズがはるかに少なくなり、映像がより鮮明になります。

ミラー オフ、H、V、HVから選択できます。

オフ:ミラー機能を無効にします。

H:画像を水平方向に180°反転します。

V:画像を垂直方向に180°反転します。

HV:画像を水平方向と垂直方向の両方で180°反転します。

3.5 機能

モーション検知

使用者が設定したモーション検知監視領域では、移動する物体を検知して警報を発生します。最大4つのモーション検知領域を設定できます。

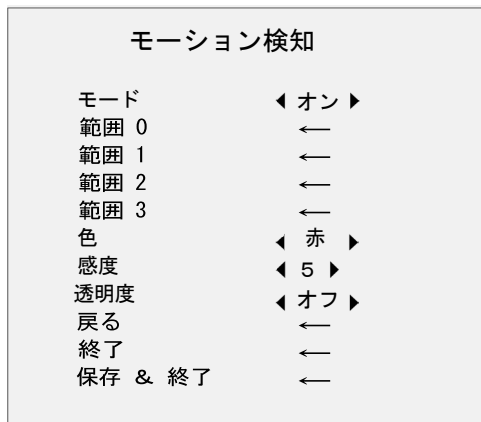


図3-6モーション検知

MODEをONに設定します。MOTION領域を選択し、X / Y位置と領域の任意の範囲を設定します。

DLC-100M 取扱説明書

プライバシー

プライバシーマスクを使用すると、特定の領域を表示または記録されないようにカバーできます。

最大4つのプライバシー領域を構成できます。

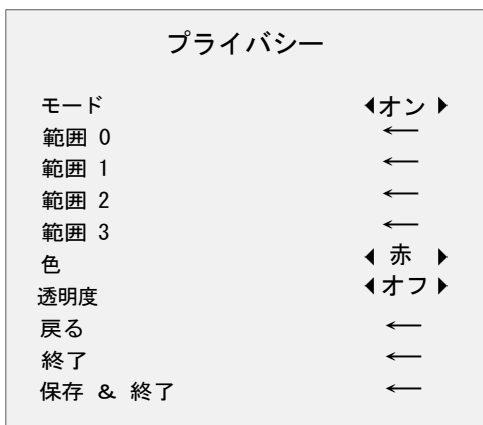


図3-7プライバシー

MODEをONに設定します。プライバシーエリアを選択し、X / Yの位置と領域の任意の範囲を設定します。

3.6 FACTORY DEFAULT[工場出荷時へリセット]

すべての設定を工場出荷時の初期状態にリセットします。

3.7 EXIT[終了]

カーソルをEXITに移動しメニューを終了します。

3.8 SAVE & EXIT[保存して終了]

カーソルをSAVE & EXITに移動し設定を保存し、メニューを終了します。

